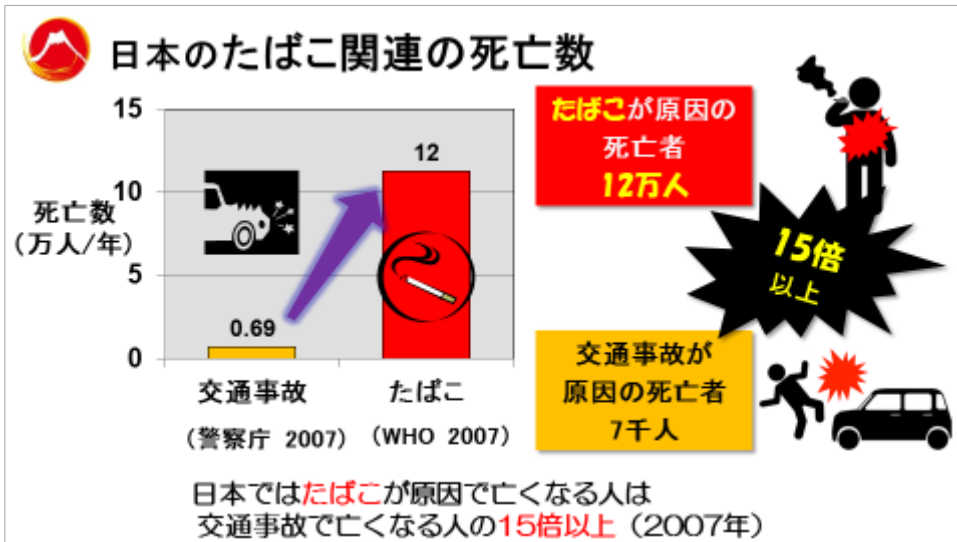
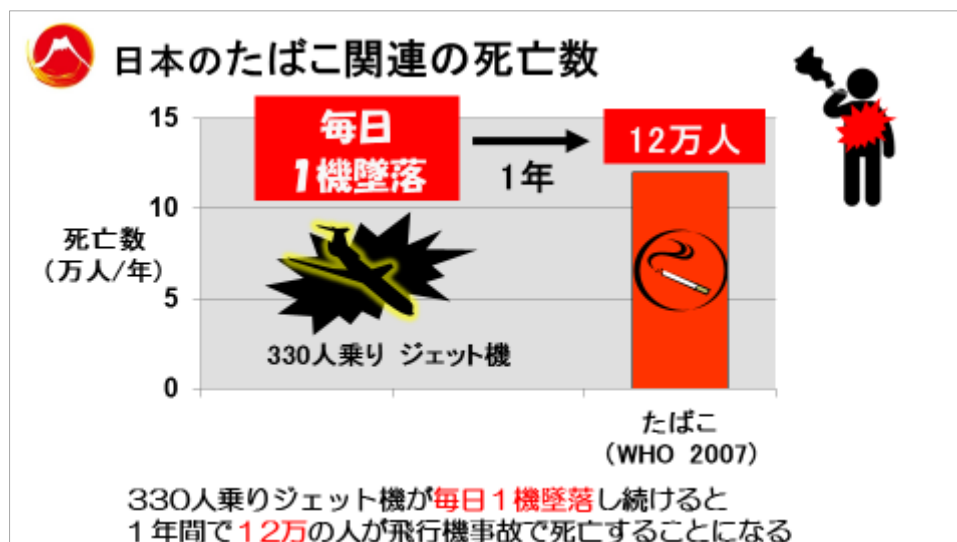


週刊 タバコの正体

喫煙を続けると、ガンなどの病気になり死亡する確率が高くなる事は知っていますよね。タバコを吸い始めていなければ健康でいられたのに、たまたま何かのきっかけで吸い始めニコチン依存症になってしまった人たちの多くは、それが原因で命を落としてしまいます。では、いったいどのくらいの人が亡くなっているのでしょうか。



くいちか内科クリニックHPから



左図にあるように9年前(2007年)には、12万人が、タバコが原因で亡くなっています。日本の人口1億2千万人のうちの12万人なので、0.1%がタバコのせいで亡くなっている計算になります。

図をみればわかるとおり、実はタバコが原因で亡くなる人の数は、交通事故で亡くなる人の15倍以上もあるのです。

さらに、これを飛行機に置き換えれば、330人乗りの旅客機が毎日1機墜落する死亡事故が発生しているのと同じペースなのです。毎日こんな事故が発生したら、とんでもない事態ですよ。

もし、旅客機が墜落するような事故が発生すれば大惨事となります。しかし、タバコを吸い続けた事によって、そんな大惨事と同じ死者が毎日発生している事に世間は全く気付いていないかのようです。交通事故や飛行機事故をなくす努力をするのは当たり前の事ですが、同じようにタバコによる死亡者をなくす努力も必要だと思いませんか。

産業デザイン科 奥田 恭久